

# 令和2年度 環境活動スタート事業

## 1 実施校

檜葉町立檜葉中学校（全学年）

## 2 実施日

令和2年12月11日（金曜日）

## 3 内容

「だれ一人取り残されないために＝僕の国キリバスからのメッセージ＝」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



#### 4 講演を聞いての感想

地球温暖化は他人事ではなく、この地球に住んでいる人々の問題だということがよくわかりました。そして、あまりCO<sub>2</sub>をだしていない地域が一番最初に地球温暖化の被害を受けていることも分かり、私もできることを少しでもやっていきたいなと思いました。

最初の地球温暖化のイメージは、少しの努力で大丈夫、また大人が直してくれる、自分には関係ないと思ってました。でも、それは間違っていて、自分の生活も地球温暖化に大きく関わっていることがわかりました。キリバスの大切な海、人々、ふるさとを守ろうという気持ちかわいてきました。地球温暖化を少しずつおさえていくために、身の周りに何があるか、何ができるかを考えて暮らしていきたいと思います。

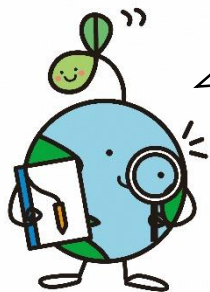
青い空、青い海、白い砂浜の裏に、地球温暖化による闇があることが分かり、辛くなった。正直、地球温暖化の影響は数十年後くらいだと思ったが、もうすでに影響を受けている国や人がいることが分かった。地球温暖化は自分が思っている以上に怖いものだった。世界はつながっているので、自分にもできることがあると思った。地球は次世代からの借り物。

他人事ではないと改めて思った。海流に乗ってゴミが様々な場所に流れていることを知り、ゴミ拾いのボランティア活動に参加してみたいと思った。また、無関心というものは恐ろしいと思った。

世界で地球温暖化が進んで来ると聞き、今自分たちができることをやりたいと思いました。また強い意志と行動が大切だとわかりました。将来自分たちがつらくない生活にしたいです。

キリバスがどのような国なのか、また、地球温暖化がただの変化ではないことがわかりました。命に関わる現象ということが分かり、今までとは違う危機感を感じました。だから、CO<sub>2</sub>削減に協力していきたいと思いました。

地球温暖化について、今まで他人事に考えていましたが、ケンタロ・オノ先生の話聞いて、とても身近に感じました、私たちのせいでいろいろな国がさまざまな被害を受けていることを知り、とても心が痛みました。地球温暖化は私たち人間の手によっておきているので、私たちが意識して生活することで少しでも防げることを知り、少しでも環境に良い生活を心がけていきたいと思いました。これから、キリバスのように危機にさらされている国が少しでも減っていけばいいと思います。



福島県の地球環境保全の  
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- ブックカバーを断る
- シャンプーやリンスは詰め替えできるものを買う。
- ご飯を残さず食べる。

実践することによって、自分の心まで気持ちよくなったので、これからも続けていきたい。



- 節約、節電など

水筒を使うように意識し、エコバッグを使い、レジ袋を使わなかった！いろいろな国のできごとなどを「自分事」だと思って少しでも協力したいです。



- フードロスが減らせるように、自分が食べられる量だけ用意する。
- 電気の使用量を減らす。

冬休み期間中は昼食を自分で用意することがほとんどだったので、食べきれる量を考えて作ることができました。また、作る時も節水や、ごみを減らせるような工夫をすることができました。家にいる時間もコロナウイルスの状況もあり、いつもより多くなったので、こまめに電気を消したり、使う時も必要最低限だけにしたりしました。少しの行動で救えるものがたくさんあるので、これからも続けていきたいです。



- プラスチックゴミをなるべく出さないようにする。
- 野菜を自分で作る。

プラスチックのゴミが出ないように、ストローやコンビニ袋を使わないようにしました。また、自分の家や祖父母の家でも大根などの野菜を作るようになりました。自分から積極的に今までの生活を見直し、改めて地球温暖化と向き合って生活することで、さらに関心をもつようになりました。

